

プロベナゾール粒剤 オリゼメート粒剤20	取扱メーカー： 北興, Meiji 原体メーカー： Meiji
成分： プロベナゾール.....20.0%	性状： 淡褐色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- オリゼメート粒剤の項参照。
- 粒径を大きくしたことにより散布幅20m以上の散布ができる。
- 水面施用剤なので散布時に降雨（ヘリコプター飛行及び作業に支障のない程度の小雨～霧雨）があっても、ムラ散布がない限り効果に問題がない。
- 移植時の側条施用で使用できる。
- 直播水稻のは種時にも使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【薬効・薬害等の注意】

- は種時に使用する場合は、直播栽培に使用し、専用のは種同時施薬機を用いる。
- 移植時に使用する場合は、次の事項に注意する。
 - 専用の移植同時施薬機を用い、側条施用する。
 - 移植後は湛水状態（湛水深3～5cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
 - 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予想される場合には使用をさける。

●空中散布、無人ヘリコプターによる散布及び散布に使用する場合、湛水状態（湛水深3～5cm）で均一に散布し、散布後少なくとも4～5日間は湛水状態にして田面を露出させたり水をきらせたりしない。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

●砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田での使用はさける。

●適用作物（稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

●空中散布及び無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2、空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

●作業時に着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯する。

●夏期高温時の使用はさける。

●魚類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	プロベナゾールを 含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	1 kg	は種時	1 回	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	2 回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
			移植時		側条施用	
			14 日前まで	2 回以内	空中散布	
					無人ヘリコプターによる散布 散布	